

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第4回地域福祉計画推進会議	
開 催 日 時	令和7年2月17日（月）13時30分～14時30分	
開 催 場 所	宍粟市役所北庁舎 4階 401会議室	
議長（委員長・会長）氏 名	地域福祉計画推進会議 会長 藤原 慶二	
委 氏 員 名	（出席者） 藤原慶二（会長）、澤田志保（副会長）、 波多野好則、三木勇人、春名郷子、鎌田恵司、 竹森智鶴、森田 圭、塚崎暁則、谷林由美	（欠席者） 中林久美子 井口明則
事 務 局 氏 名	健康福祉部 三木部長、有元次長 健康福祉部社会福祉課 西嶋課長、木村副課長、大塚係長	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	☒ 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び報告事項） ① 開会 会長あいさつ ② 報告事項 ・市議会からの意見について【資料3】 ・パブリックコメントの実施結果について【資料4】 ③ 協議事項 ・計画内容の修正箇所等について【資料1、2】 ・第4期計画の検証・評価について ④ その他 ⑤閉会	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	・会議次第 ・出席者名簿 ・第4期 宍粟市地域福祉計画最終案【資料1】 ・宍粟市地域福祉計画の変更点【資料2】 ・_議会意見回答（案）【資料3】 ・パブリックコメント回答（案）【資料4】	
議 事 録 の 確 認 （ 記 名 ）	（委員長等） _____	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
	1 開 会
	2 あいさつ 会長 あいさつ
	3 報告事項
会長	報告事項について、事務局から説明をお願いします。
事務局	第4期宍粟市地域福祉計画（案）に対する市議会の意見及びその回答案について、資料3を用いて説明。 （回答案） 市議会の意見は、計画に包含されていることから、計画等に反映済みのものとして取り扱う。
	<質疑なし>
事務局	第4期宍粟市地域福祉計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果及びその回答案について、資料4を用いて説明。
委員	パブリックコメントの件数が1件のみであるが、他の計画でもこの程度の意見数なのか。
事務局	総合計画では10件程度の意見が寄せられるが、福祉関係の計画では、意見がないものやあっても数件ということが多い。
委員	再犯防止計画の関連で、犯罪をしてしまった人の受け入れについて相談を受けることがあり、可能な範囲で受け入れるようにしているが、再犯や周囲との関係など、様々な困難がある。この計画において、もう少し踏み込んだ取り組みなどを記載することはできないか。
事務局	犯罪をしてしまった人の特性ごとに取り組みを記載することも計画を策定するうえで、ひとつの考えであり、そのような意見もうかがっている。しかしながら、特性ごとに取り組みを記載することで、こういった特性のある人は犯罪をしやすいなどという誤認の恐れがあることや初めての計画

	になることから、関係機関との連携により、支援が途切れることないようにすることなどを取り組みに挙げている。
委員	更生保護にかかわる保護司は、犯罪をしてしまった人が、再び地域の中で生活するためには、どのように支援をしたらいいのかと悩む事例があり、更生保護にかかわる者が活動しやすいように、行政の専門職に相談する仕組みなどを再犯防止計画に盛り込んでもらっている。
会長	4 協議事項 計画内容の修正箇所等について事務局から説明をお願いします。
事務局	計画内容の修正箇所等について説明。(資料1、資料2)
会長	宍粟市では、「しょうがい」という言葉の「がい」という字はすべてひらがなを使用しているのか。
事務局	法律の名称で漢字が使用されているものなどを除き、ひらがなを使用している。
会長	障がい者の実態調査でひらがな表記がされていることに違和感があって質問した。宍粟市ではこのようにひらがなを使用しているということで間違いないか。
事務局	間違いない。
会長	4 協議事項 第4期計画の検証・評価について事務局から説明をお願いします。
事務局	第4期計画の検証・評価の方法(案)について説明 ＜検証・評価の方法(案)＞ 第4期計画では、基本目標や基本施策ごとに基準値や目標値を設定していないことから、第3期計画のような検証・評価はできない。そのため、第4期計画の検証・評価は次のとおり実施することを提案する。 (1) 検証・評価の対象 原則として、すべての部署(課単位) (2) 検証・評価の方法

	① すべての部署は基本目標ごとの検証・評価シートを作成する。 ② 計画担当課は検証・評価シートをもとに、すべての部署に対してヒアリングを実施する。 ③ 地域福祉計画推進会議で検証・評価シート（ヒアリング結果反映分）を用いて検証・評価を行う。 ④ すべての部局に検証・評価結果を示す。
会長	第4期計画で数値目標を撤廃したことは、地域福祉計画としては適切であったと考えている。一方で、検証・評価をどのように行うのかということが課題となるが、その方法について事務局から提案がありました。皆さん、意見等はありませんか。
委員	検証・評価はどの基本目標、基本施策、取り組みのどのカテゴリーで行うのか。
事務局	基本目標を単位として行うことを想定している。
会長	基本施策や取り組みごとに検証・評価を行うと、非常に時間がかかる。他市の計画の検証・評価を事業ごとに行った際、6時間ほどかかり、最初と最後で質の低下もあった。そのような経験からも事務局が提案する基本目標ごとの枠設定が妥当であると考えます。
委員	検証・評価のスケジュールについて説明を求める。 検証・評価は推進会議で毎年実施するのかもしれないのか。するのであれば、どのくらいの時期に行うのか。また、推進会議に提出する資料を作成するための各部局が作成する検証・評価シートはいつ時点のものを作成し、ヒアリングはいつ行うのかなどを参考に示してもらいたい。
事務局	第4期計画は令和7年4月からとなり、令和7年度の推進会議は、第3期計画の検証・評価を行うことになるが、その際、第4期計画の検証・評価シート（案）とスケジュール等を示したい。
委員	地域福祉計画は毎年行う検証・評価を反映するものか。
事務局	検証・評価は1年ごとに行うが、その結果を都度計画には反映しない。
会長	第3期計画はコロナという不測の事態が起こり、目標値が合わなくなっ

会長	てしまった。そのため、評価・検証を適切に行うことができなくなってしまった。一方で、コロナ渦でも地域福祉は推進あるいは維持されており、数値によらない評価方法が必要であることを理解した期間でもあったと感じている。第4期計画では目標値によらない検証・評価を行いたい。 この後も細かな修正はあろうと思いますが、ここで、計画案本編について承認の決を採ります。承認される方は挙手をお願いいたします。 ＜委員全員挙手＞
会長	それでは、第4期地域福計画案については承認されました。事務局、お願いします。
事務局	第4期地域福計画案について、ご承認をいただきありがとうございます。本来であれば、本会を代表して会長と副会長から計画案を市長にご提出していただくところなのですが、西播磨県民局地域政策懇話会に出席しており、この場に来ることができませんので、健康福祉部長が代理で受けとらせていただくということでお願いしたいと思います。 会長、副会長より計画案と意見書を健康福祉部長へ提出。 健康福祉部長より市長からのお礼文代読。
会長	5 その他 その他について、事務局からお願いします。
事務局	令和7年度第1回推進会議について、9月から11月の間で開催する予定です。開催にあたっては、日時が決まり次第、通知させていただきます。 ＜質問等なし＞ 6 閉会